

2017 年度予算案

4年連続の増
 震災直後のどき過去最大規模

西宮市 2017 年度予算案が発表されました。総額では前年度から約 25 億円 (0.8%) 増の 3,180 億 6,945 万円で、当初予算では、阪神・淡路大震災直後の 1997 年度を除いて過去最大の規模です。

1,000 人を超える保育所待機児童の解消策や、中央病院の老朽化対策、香櫨園小、瓦木中など 6 校の増改築などの避けられない投資事業が目につきます。また今後も、第 2 庁舎建設、新中央体育館など投資事業が続く模様です。

2017 年度予算総額			
	2017 年度	2016 年度	前年比
一般会計	1766.23 億円	1746.85 億円	19.38 億円
特別会計	947.18 億円	943.84 億円	3.35 億円
企業会計	467.28 億円	464.90 億円	2.37 億円
総計	3180.69 億円	3155.59 億円	25.10 億円

一般財源内訳			
	2017 年度	2016 年度	前年比
市税	856.42 億円	845.19 億円	11.23 億円
譲与税・交付金	100.23 億円	105.47 億円	5.24 億円
地方交付税	38.86 億円	53.88 億円	15.02 億円
臨時財政対策債	47.05 億円	60.56 億円	13.51 億円
その他	21.93 億円	7.60 億円	14.33 億円
財政基金取崩し	59.04 億円	43.69 億円	15.35 億円
減債基金取崩し	10.00 億円	10.00 億円	0
総額	1133.53 億円	1126.39 億円	7.14 億円

ていますが、今村市長は議員当時も市長選挙でも人件費削減などの「行革」を声高に叫んでいただけに、議会の一部議員会派の反発は必至。成り行きは不透明です。

国保料抑制に基金活用可能へ

国民健康保険では、新聞でも報道されたように、西宮市が 9 年間対象者を本来より多く申請していたため、国からの交付金を 10.9 億円多く受け取っていたことが判明。今年度と新年度で基金を取り崩し国に返納するため、国保財政安定化基金残高は現在の 27 億円から 16.7 億円になる見込みです。

現行条例ではこの基金を保険料抑制に使うことが出来ませんが、党議員団は繰り返し議会で基金活用を求め、3 月議会の条例改正により基金を保険料抑制に使えるようになります。

新年度の国保特別会計に対する保険料抑制のための一般会計からの繰り入れは前年度と同じ 7 億円ですが、党議員団はさらに 16.7 億円の基金を活用した保険料引き下げを提案する予定です。

県・市統合病院問題のゆくえ

市立中央病院については県と市が有識者を交え、「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院のあり方検討委員会」において議論してきましたが、このほど「新用地に県・市の統合病院整備が望ましい」という方向が打ち出されました。

市は統合を求めています。今後この検討委員会の結論を受けて、県の判断が問われることとなります。



*歳入では… 給与所得の増、一部企業の業績好調、引き続き家屋の増築増などによって、市税については前年度比 1.3%、11 億 2,318 万円の増加が見込まれています。

一方、市税収入増、公債費 (借入金の返済) 減によって、国から地方へ財源不足を補てんする地方交付税と臨時財政対策債 (交付税の振り替え財源) は合計で前年より 28 億 5,300 万円 (24.9%) 減少していますが、自治体の裁量で活用できる一般財源は、前年度を上回る 1,133 億 5500 万円を確保しています。

日本共産党市会議員団が一貫して求めてきた盤滝トンネル通行料の無料化が 2017 年度に 3 年前倒しで実現しますが、建設時に市が兵庫県道路公社に貸し付けていた 12 億 1,500 万円も同時に新年度中に返済されます。

*歳出では… 保育所待機児童対策で前年度比約 26 億円増、総合教育センターの改修などで教育費は約 2 億 7,400 万円増。

前年度は「広報アドバイザー」「西宮の休日事業」という今村市長の独自色が強い提案が議会で否決修正されましたが、新年度予算案にこの種の「独自色」は見当たりません。

職員を 54 人増員する条例が提案され、予算案にも含まれ

「子どもが育つのによいまち」「子育て世帯 に選ばれるまち」というならもっと

新たな保育所整備に24億円

市は、1000人を超える保育所待機児童対策のため、今年度より3年間で1500人の受け入れ枠を拡大するとしています。

公立では、むつみ保育所・むつみ児童館・芦原保育所の統合施設整備や浜脇保育所・浜脇児童館の大規模改修等を実施します(12億円)。民間では、保育所、認定こども園、小規模保育施設を整備する社会福祉法人等に対し、施設整備費を補助するなど、2018年度に向けて約600人の定員増を図ります(約12億円)。

また、保育士確保のため民間保育所が保育士用宿舎を借り上げる際の費用を補助しますが、対象者はわずか。

保育士の給与が低すぎるのが、保育士不足の最大の要因であり、市独自で保育士給与の引き上げをただちに実施すべきです。



学童保育所4年生の 受け入れ実施5か所増

学童保育は「子ども子育て支援新制度」が始まり、3年生までの受け入れが6年生までに拡大されました。

市では現在、上甲子園、高須、西宮浜、鳴尾の4か所で4年生の通年受け入れをしています。2017年度は5か所増え、9か所で実施することになりました。

さらに夏休み、冬休み、春休みと土曜日の開所時間は8時半からですが、4ヶ所で8時からに繰り上げられています。新年度はその対象校を拡大します。

4年生以上の受け入れと長期休みなどの開所時間、どちらも早期に全校に拡大することが求められています。



こんな施策も

<子育て支援>

- ・民間保育所整備で約600人の定員増(施設整備費や土地等賃貸料補助など)
- ・むつみ保育所・むつみ児童館・芦原保育所の統合施設新築工事
- ・浜脇保育所・児童館の大規模改修(工事)
- ・今津南保育所大規模改修(設計)
- ・保育士確保のための資格取得費用や宿舎借り上げ費用の補助
- ・認可外保育施設利用料補助(地域型保育所卒園児対象)
- ・留守家庭児童育成センター4年生受け入れ4校→9校へ
- ・育成センター 夏休み等の開所時間8時繰上げ4か所から拡大
- ・育成センター新築改修 苦楽園(新築)、大社、山口など7か所

<防災・防犯・安全>

- ・通学路などに防犯カメラ設置(3年間で上限300台)
- ・瓦木消防署甲東分署建替え(建設)
- ・甲子園浜に消防訓練施設整備(建設)
- ・西宮消防署建替え(基本計画策定)
- ・空き家跡地活用支援に補助

<学校施設整備>

- ・香櫨園小増改築(仮設校舎設置、解体工事着手)
- ・西宮養護学校改築(基本設計・実施設計着手)
- ・春風小増改築()
- ・深津小増改築()
- ・安井小増改築(基本計画策定、基本設計・実施設計着手)
- ・瓦木中増改築(基本計画着手)
- ・学校施設長寿命化計画策定

<医療・福祉>

- ・中央病院大規模改修(耐震工事含む)
- ・中央病院医療機器整備(手術支援ロボット他)
- ・在宅療養相談支援センター設置(4か所→5か所)
- ・難病相談窓口支援員配置
- ・総合福祉センター周辺再整備(センター改修設計)

<施設整備等>

- ・新体育館・新陸上競技場整備(基本計画策定)
- ・西宮浜総合公園・御前浜公園整備(詳細設計)
- ・旧芦原小グラウンド再整備(I期工事)
- ・卸売市場再生整備調査検討
- ・第二庁舎(危機管理センター)整備(基本設計)
- ・本庁舎、市民会館など周辺整備構想検討